

しょう害のある人のために・・・

岩室小学校 6年 宮島 祥平

ぼくの兄は、自閉症です。兄は、小さいころに、その病気が発覚しました。自閉症は、一生なおらない病気で、ずっとそれを背負って生きていきます。幸いにも、兄のしょう害は軽いものだと聞いて、ぼくはほっとしました。

新潟県には、しょう害を持った人がいく、教育センターがあります。兄は、一ヶ月に一回、その教育センターに通っています。

施設は、他にもあります。しょう害のある人がいく高校、養護学校があります。うちに一番近い養護学校は、亀田でした。でも、最近、巻の高校が一つになって、巻総合高校になったため、もう一つの高校を養護学校として使うことになりました。すぐそこなので、兄もそこへ通うことになります。

母から、聞いたことですが、しょう害のある人達が、パンを作って自分達で売っている所があるそうです。ただ、その人達はとても給料が少ないそうです。

兄のような、しょう害を持った人達が働く会社や、施設などはまだまだ少ないと思います。

このような、しょう害のある人のための施設、学校、会社などをふやして、どんな人も住みやすいようにしてほしいです。

ほかに、してほしいことはあります。遊園地やレジャープール、体育館、温泉などの公共の施設をしょう害のある人達も楽しく、なんの問題もなく使えるようにしてほしいです。

例えば、兄はテレビがきらいです。ですから、うちはあまりテレビはつけません。日帰り温泉に行くと大広間にはテレビがついています。なので、テレビのないリラックスマームという部屋にいきます。そういう部屋があつてとても便利です。

しかし、しょう害のある人のために思った施設は、あまりありません。そして、しょう害のある人を思ってくれる人もあまりいません。なので、しょう害のある人のための施設をふやしてほしいです。そして、しょう害を知り、理解し、思いやしてほしいです。そして、だれでも、住みやすく楽しい新潟市にしてほしいです。